

2022 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生（個人および団体）を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

【 個人 】

氏名	所属	表彰内容・理由
村上 貴美子	日本語日本文学科 4年	2022 年度より書道部部长として、コロナ禍で活動が難しい状況の下、合宿の立案計画や書道部展を開催した。また自身も学内外の展覧会に積極的に取り組み、本年度は下記の通り優秀な成績を収めた。 第 73 回毎日書道展入選、第 70 回三島市美術展議長賞、第 15 回全国公募書道展「放哉を書く」、第 59 回全国競書大会秀作、第 11 回佐久全国臨書展特選

【 団体 】

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
学生プロジェクト団体 「歴史マッププロジェクト」 (メディア情報学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科)	本学に在る歴史的遺構を纏めた『サガジョ歴史マップ』とそのデジタル版の二次元コードを掲載した『サガジョ歴史マップカード』を制作し、帝国女子専門学校時代をイメージした女学生に扮した学生が構内の遺構を案内する『サガジョ歴史ツアー』を相生祭にて実施した。当取組みを契機に、今後、歴史という観点で地域との繋がりを発信するヒントを得たと言える。
クラブ活性化プロジェクト (日本語日本文学科・子ども教育学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科)	コロナ禍で衰退したクラブ活動を活性化するため 2021 年 9 月に発足し、普段の活動や大会の写真等を使用する「ピックアップ!クラブ紹介!」の企画、学生に配布する「クラブ活動 Q&A」の作成、昼休みのクラブ紹介、クラブ体験会、クリスマスコンサート等を行った。また、クラブ部長会の定期的な開催も継続中であり、これらの取組みは大学全体を盛り上げる活動と評価できる。
オープンキャンパス学生スタッフ 学生企画チーム (日本語日本文学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科・人間心理学科・健康栄養学科)	オープンキャンパスで「学生が受験生に本学の魅力を伝える」、「本学で学び、成長した姿を見せたい」という想いから、学生が受験生向けに企画・立案し、下記イベントを実施し、相模女子大学の魅力発信に大きく貢献した。 ・目指せ!さがじょマスター (クイズラリー) ・さがっば・ジョーのお散歩マップ (展示) ・相模女子大学周辺魅力マップ (展示) ・学生を知ろう (展示) ・大学生のリアルを知ろう!トークショー
相生祭実行委員会・ 大学祭実行委員会 (日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科・食物栄養学科)	三年振りに、歴史ある「相生祭」を再スタートさせた。両委員会は対面開催を経験していない中、相生祭実行委員会は、臨機応変に全体を統括・進行し、大学祭実行委員会は、参加団体への説明会開催や、質問・要望の聴き取り及び調整を行った。さらに感染症対策や大学祭主体の企画も積極的に発案し、その団結力と個々の努力により、2 日間で 1 万 9000 人以上の来場者を集めた。

団体名 (所属学科)	表彰内容・理由
地域活性化・発想女子チーム (英語文化コミュニケーション学科)	<p>北陸・東北地方を中心に19日間に渡り、地域貢献活動を行い、以下の成果を発揮した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「全国エコツーリズム学生シンポジウム」に応募し、『もう「震災復興」とは言わない。エコツーリズムで福島を元気にする一浜通りで”癒やし”旅を一』がポスターセッション枠に選出された。 2. 富山県庁、NPO グリーンツーリズム富山とチーム学生の協働で、富山県南砺市土山地区、同上市町黒川地区での地域活性化活動として、観光を用いた耕作放棄地の活用、特産品の販売方法の検討等を行った。(10/24 富山新聞・11/6 北日本新聞掲載) 3. 富山県氷見市論田熊無地区、南砺市土山地区の相生祭参加の準備、当日の店舗運営の補助を行った。 4. 「2022年度第18回神奈川産学チャレンジプログラム」で優秀賞を受賞した。
さがみチキンプロジェクト パッケージデザイン・ラベルデザインチーム (メディア情報学科)	<p>本学のある相模原市南区において、採卵期間を終えた親鶏が年間8~9万羽廃鶏されているという現状解決のため、相模原市商業連合会の飲食店である「旬鮮酒場 NOBU」が「相模チキンの鶏すじ煮込み」及び「相模チキンジャーキー」を商品開発し、当チームがパッケージ及びラベルのデザインを作成した。この活動は、相模原号外NET、JKOMテレビ「L I V E相模原、愛川」で紹介された。</p>
デザイン防火衣企画 「Lict (ライク)」 (生活デザイン学科)	<p>相模原市消防局と相模原市防災協会と共同で、様々なコンセプトの消防フェア用の防火衣を8着製作した。完成した防火衣は、相生祭にてファッションショーと試着体験で発表し、2冊の冊子制作も行った。その後も、作品展示(相模原市役所、2023年度出初め式等)や試着体験(各種防災フェア)にて活用されており、朝日新聞や産経新聞等各種メディアに取り上げられた。また、2023年1月相模原市消防局にて表彰された。</p>